

「令和4年度鹿児島県いじめ問題子供サミット」の様子を報告します

高校教育課

県いじめ問題子供サミットとは？

令和4年12月26日（月）市町村自治会館において「鹿児島県いじめ問題子供サミット」を開催し、小中高あわせて346人の児童生徒が参加しました。

このサミットの目的は、子供たち自身が語り合うことで、いじめを許さないという強い気持ちを持ち、自分たちの手でいじめをゼロにしようという意識を高めるというものです。

また、本年度は会場とオンラインでの参加者が、相互に意見交換できるようにしました。

活動1 「すれ違いが生じた3人の友人関係」の解決方法について考えよう。

ジュニアリーダークラブ「コアラ」が作成した脚本に基づき制作された、ある出来事をきっかけにギクシャクし始めた3人の生徒を中心とした人間関係について取り上げた動画を素材に、トラブルをどのようにして防ぐか、誰にどのような言葉をかけながら解決していくかを議論しました。

あなたなら、誰にどんな言葉をかけますか。



それぞれ考えたあと、お互いに意見交換しましょう。

【動画の一場面】

<子供たちから出た意見>

- 相手をよく理解しないまま不用意な発言をしないようにする必要がある。
- 悩んでいる人を独りにせず、相談役になる。
- 信頼できる第三者が間に入って3人の関係を修復するのがよいと思う。

活動2 各地区代表校によるいじめ防止等への取組発表

いじめ問題の解決や防止に向けて、各学校や各市町村等の地域が懸命に取り組んでいます。



【取組事例発表の様子】

このサミットでは、各地区等の代表校に取組事例を発表していただきました。児童会や生徒会等が中心となり、それぞれの学校の実態に応じて、様々な取組がなされていることが伝わりました。

<実践発表校>

鹿児島市立河頭中学校 いちき串木野市立生冠中学校 指宿市立西指宿中学校 出水市立米ノ津東小学校 始良市立加治木中学校 垂水市立垂水中央中学校 中種子町立中種子中学校 龍郷町立龍南中学校 県立鹿児島水産高等学校

活動3 困っている仲間を救うためには？

「いじめはよくないこととみんな知っている。しかし、なぜなくなるのか」について考えた上で、いじめに悩んでいる仲間がいたら、どのようにして救うかについて議論しました。



【話し合いの様子】

<子供たちから出た意見>

- さりげなく助け船を出すのがよいと思う。
- そばにいて話を聞いてあげる必要がある。
- 少しでも心のよりどころになるよう動く。
- いじめている側に働きかけ、自分が加害者であるという自覚を持たせる必要がある。
- 話し合いをして互いの言い分や考えをしっかり伝えることが解決につながる。

学校や学年の垣根を越えて、子供たち同士が真剣に話し合う様子が印象的なサミットでした。